



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
<No. 6> 令和4年8月26日 (金)

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

コロナに負けず 頑張った夏

校長 長島 淑子

真夏の酷暑の中、熱中症やコロナとも戦いながら、各部活動の熱い戦いが繰り広げられました。その様子を顧問の先生方に聞きました。一部抜粋してご紹介します。

県大会に出場した部『剣道部男子は3年生の部長を中心に全員で戦えるチームでした。女子の個人戦では、さいたま市の代表としての意識をもち、県の代表生徒と互角の戦いをして3回戦まで勝ち上がりました。男子卓球部は、苦しい予選を勝ち抜き、本戦に出場しました。日々の練習を一生懸命頑張っていた3年生だったので、よい結果が出てとても嬉しかったです。陸上部は、修学旅行でも朝練をし、もっと早く起きて練習したい、頑張りたいという気持ちがひしひしと伝わりました。水泳部は、一人ひとりがタイムにこだわり、1秒でも早く泳ぎたいと部員同士励まし合いながら一生懸命練習に取り組んでいました。女子ソフトテニス部は、ペアとたくさん話し合い、意見や考えを共有し試行錯誤を繰り返しながら県大会に臨みました。硬式テニスの女子シングルスでも3年生の選手が頑張りました。猛練習し、表現力を強化したダンス部 (SDC) は見事に金賞に輝き、全国大会出場を決めました。10月2日 (日) 代々木体育館で行われる全国大会に向けて、けがの無いように頑張りたいです。』

惜しくも県大会出場を逃した部も、それぞれ頑張りました。『吹奏楽部は本番直前まで粘って練習し、こだわって創り上げた曲で昨年に続き2年連続で金賞に輝きました。惜しくも県大会出場は逃しましたが確実に実力がついてきています。男子ソフトテニス部は、1人1勝をめざしてテキパキ動いて声を出し、自分たちで率先して動いていました。女子バレーボール部は、高い目標を持ち、最後まで全員仲良く活動することができました。トーナメントで初めて勝利し、県大会上位入賞校を相手にスパイクを決めるなど、楽しく終えることができました。女子卓球部は、3年生として立派な姿で、思い切ったプレーを後輩たちに見せてくれました。男女ともにバスケット部は日に日にチームバランスが向上していきました。順調に勝ち進んでいた野球部は、惜しいところで負けてしまいましたが、本当によく戦っていました。学総大会敗退の悔しさを高円宮杯にぶつけ、何としても県大会に出場するという強い思いで練習していたサッカー部は、惜しくもPK戦で敗退しましたが、最後まで戦い抜いた姿は立派でした。3年生の姿を見て後輩たちも様々なことを感じたようです。』顧問の先生方の言葉から、嬉しさや悔しさ、そして次こそは！という思いが伝わってきますね。先生方も生徒たちと一緒に戦っていたのです。

全ての部活動で、今年の3年生は、1年生の時のコロナ禍に始まり、なかなか練習ができなかった3年間でしたが、最後は大きく成長し、技術だけでなく、立派な中学生として育ってくれました。3年生が引退してしまうと寂しいと顧問の先生方も後輩も思っています。

他にも、岸町公民館や図書館等で、たくさんの生徒がボランティアを行い、講座やショーのお手伝いや、ポスター作り等を行いました。地域の役に立ち、喜んでもらえたようです。

白中生の夏は、コロナや熱中症に悩まされ、翻弄された夏ではなく、こんなにもたくさんの生徒が様々な場面で活躍した素晴らしい夏でした。コロナだから、何もできないわけではなく、「だったらどうする」の精神で、予防に万全を期しながら、工夫をすれば様々な体験ができることをみんなが証明してくれました。